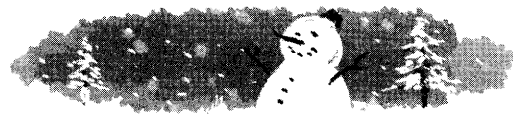
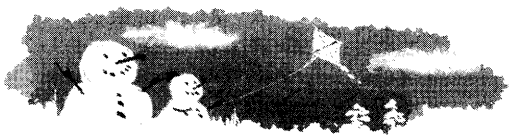


一月

宮坂静生



伊勢海老の睨みつけたる去年今年
磯そ 馴なれ 松まつ 一月ひかり貯ふる
舞ふやうな男ばかりや山始
初はつ 堰せんげ 水が四股踏み唄ひ出す
飴市の飴のおたふく泣いてる
塩市の牛つなぎ石祀りけり
雪嶺の自在に動き枯るる中



嫁叩雪嶺みがきあげらるる
明るかり枯木の隙が黄泉よもつ 国くに
雪嶺の夕べ退しまりぬ納骨す
雪嶺の永久へ永久へと老けにける
姨捨の猿がりんごの木におらぶ
善光寺平は器冬麗
祝黒田勝雄・杏子さん
冬麗の微塵に山のやさしさよ
龍の玉死ぬ気になれといはれても
渡り鳥芭蕉描きしいびきの図